

東京外環地下水検討委員会

設立趣意書

東京外かく環状道路（関越～東名）は、実質的にわが国ではじめて大深度地下領域を全面的に活用した道路延長約 16 キロ、片側 3 車線の路線である。東京外かく環状道路の事業周辺地域には、地下水利用が存在することなどから、地下水の保全に万全の措置を講じて建設を進める必要がある。従って、近年の施工事例や技術開発動向など最新の知見を確認し、検討することが不可欠である。

このため、地下水の保全について確認、検討することを目的として、学識経験者からなる「東京外環地下水検討委員会」を設立するものである。